

平成21年10月28日

宮城県ミニバスケットボール連盟
登録チーム代表指導者・保護者 各位

宮城県ミニバスケットボール連盟
会長 安齋知秀

インフルエンザ流行に伴う対策について（通達）

日頃より当連盟の活動に対しまして、ご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。現在、インフルエンザの感染者が増大し、大流行がおこることが懸念されています。特に、バスケットボール界においては、今後本格的なシーズンとなることから、宮城県ミニバスケットボール連盟として、インフルエンザ（新型・季節性を問わず）に対する予防ならびにインフルエンザが発症した場合の対策について、次の通り実施するものとして各チームにお願いすることといたしました。

なお、この対策は、原則インフルエンザ流行時においては継続されるものいたします。

1 インフルエンザの予防について

チーム内で日頃の活動から、以下のようにインフルエンザの予防に務めることとする。（季節性インフルエンザも同様とする。）

- ・外出後の手洗いやうがいの励行、マスクの着用
- ・人混みや繁華街への外出を控える
- ・十分な睡眠、休養、バランスのよい栄養を摂り、日頃から体力や抵抗力を高めておく

2 通常活動時においてインフルエンザを発症した場合

- ① 急な発熱や頭痛、全身倦怠、筋肉痛などの全身症状を発症したときは、他の人にうつさないようにマスクを着用して速やかに医療機関に行き受診する。
- ② チーム内に感染が広がらないように、インフルエンザを発症した選手は、症状がはじまった日の翌日から7日目まで、また熱が下がってから2日間は外出をしない。
- ③ チーム内で複数の選手が発症したときは、宮城県ミニバスケットボール連盟の所属するブロックのブロック長・支部長に詳細を連絡し、対応策について十分に協議する。

3 大会参加申込み後から、大会開催の前にインフルエンザが発症した場合

- ① チームの代表者は、宮城県ミニバスケットボール連盟や所属するブロックのブロック長・支部長に報告し、指示を仰ぐ。同時に、チーム内で大会への出場辞退を含め、検討意思決定する。
- ② 宮城県ミニバスケットボール連盟は、チームからの報告を十分に検討した上で、

当該チームに対して適正な指導を行い、最悪の場合は出場を辞退させるべき勧告ができるものとする。

- ③ 原則として、大会参加申込締切後に、出場を辞退するチームがあっても、参加チームの変更や追加を認めない。
- ④ 大会参加予定チームの内、相当数のチームで新型インフルエンザの発症があり、出場辞退するような状況においては、状況を十分に検討し、大会の中止・延期等の対策を迅速に決定する。

4 大会開催中にインフルエンザが発症した場合

- ① チームの代表は、所属するブロックのブロック長・支部長に報告し、指示を仰ぐ。同時に宮城県ミニバスケットボール連盟に報告し、判断に従うと共に、他のチームへの感染が広がらないように出場辞退を含め、検討意思決定する。
- ② 大会参加チームの相当数においてインフルエンザの発症が確認され、出場できない状況になった場合、速やかに対応を検討し、大会の中止や延期等の対策を迅速に決定する。
- ③ 大会期間中、チームの関係者や観客に対して、インフルエンザ対策に万全を期し、マスクの着用や入場の際の手洗いなどの対策をとる。

5 留意事項

- ① インフルエンザを理由とした学校閉鎖や学年・学級閉鎖があった場合は、その所属する学校、学年、学級の児童は大会に参加できないものとする。
- ② 大会参加時だけでなく、日頃から検温を含め、体調を十分に観察しておくこととする。
- ③ 大会に出場ができなくなった場合や発症の事実確認がはっきりした場合は、チーム関係者に関わらず、宮城県ミニバスケットボール連盟所属全チームが個人情報などに十分に配慮して対応するものとする。

※報告の流れ（緊急を要するので、電話とともにE-mailで報告のこと）

チーム代表者 ⇄ 所属ブロック・支部の
ブロック長・支部長

⇄ 宮城県ミニバスケットボール連盟
理事長 奥田昌樹



会場責任者

又は

各委員会委員長

以上のような対策をお願いすると共に、大会参加への判断や活動開始の判断などしかねる場合は、チーム代表者が宮城県ミニバスケットボール連盟に連絡し、その指示に従うよう重ねてお願いします。